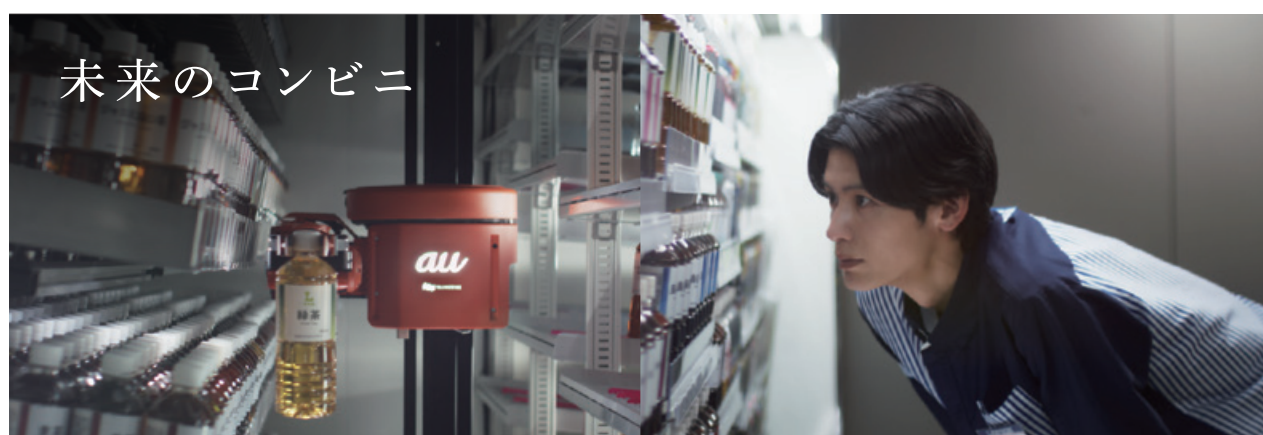




「つなぐチカラ」を進化させ、 誰もが思いを実現できる社会をつくる。 KDDI VISION 2030 ～「夢中に挑戦できる会社」へ～

KDDI株式会社
代表取締役社長 CEO
まつだ ひろみち
松田 浩路

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
本年4月より、代表取締役社長 CEOに就任いたしました松田浩路でございます。
就任に際し、株主の皆さまにご挨拶申し上げます。

KDDIの使命

私たちは、KDDIグループの「ありたい未来社会」を実現するため、「KDDI VISION 2030」を掲げています。それは、「つなぐチカラ」を進化させ、誰もが思いを実現できる社会を作ることです。通信や多様なサービスの提供を通じて、人々の「命」、「暮らし」、そして「心」を結びつけていきたいと考えております。今や、通信とAIは日常のあらゆるシーンに溶け込み、新たな価値が生まれる時代が訪れています。AIやデジタルデータを駆使し、

「つなぐチカラ」を新たな次元へと引き上げ、アップグレードすることで、すべての事業に新しいデジタルの流れを取り入れ、お客さまやパートナーの皆さまに新しい価値を提案し続けてまいります。

「つなぐチカラ」の進化

重要な社会インフラを担う通信事業者として、当社はお客さまの生活動線にこだわって5Gエリアの拡大を進めるとともに、通信速度の向上や遅延の改善を図って

まいりました。その結果、Opensignal社が発表した、「グローバル・モバイル・ネットワーク・エクスペリエンス・アワード2025」において、全6部門のうち3部門で世界1位*1を獲得することができました。さらに、本年4月からは、衛星とスマートフォンの直接通信サービス「au Starlink Direct」の提供を開始しており、日本全土にauのエリアを拡張することで、「空が見えれば、どこでもつながる」体験を実現していきます。これからも、「ずっと、もっと、つなぐぞ。」を合言葉に、通信品質のさらなる向上に努めてまいります。

目指す姿「夢中に挑戦できる会社」

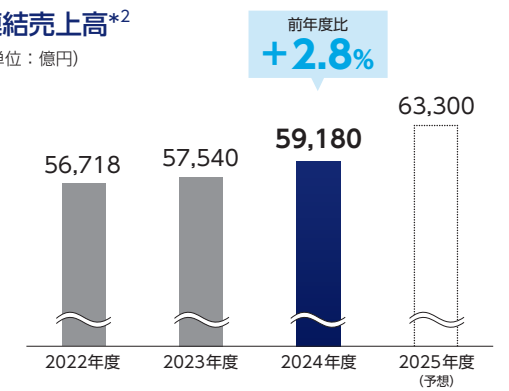
かつて、テクノロジーの力に夢中になった私が今も、通信の力でもっと便利でいい未来をつくることに夢中になっています。

今年は通信自由化から40年、そしてKDDIは発足25周年の節目の年になります。先人の方々の努力と挑戦の歴史によって、「つながって当たり前」と思われるくらい通信は発展してきました。でも、まだまだです。ここでまたひとつ、通信の力は進化できます。「つなぐチカラ」を新たな次元にアップグレードできます。それらを実現する原動力は夢中になること。失敗を恐れず、新しいことを仕掛け続けていく。準備を怠らず、誰よりも先んじて、全社員の夢中のパワーで、信じるものを形にしてゆきます。

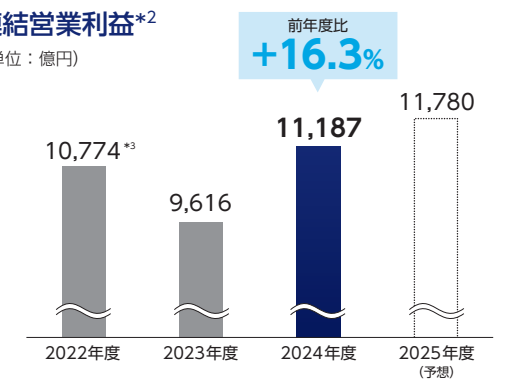
株主の皆さまにおかれましては、温かいご指導・ご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

*1 十分にデータ収集が可能な国土面積200,000km以上の国々の全てのモバイル・ネットワーク・オペレーター(41カ国、142MNOs)で構成され、各国でOpensignal社が認める共通の評価基準に基づいて値を比較。データ提供期間2024年7月1日～12月27日。2025年2月27日発表「グローバル・モバイル・ネットワーク・エクスペリエンス・アワード2025」©Opensignal Limited。(詳細はOpensignal社ウェブサイトをご覧ください。)

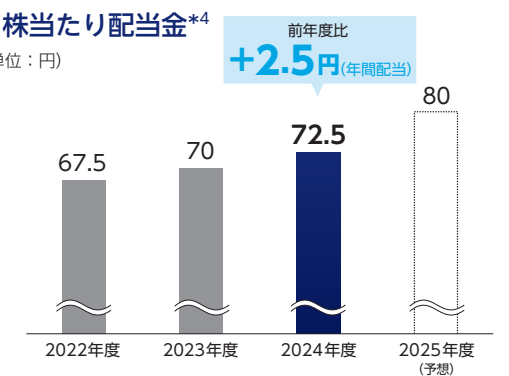
連結売上高*2 (単位：億円)



連結営業利益*2 (単位：億円)



1株当たり配当金*4 (単位：円)



*2 IFRSを適用しています。また、億円未満を四捨五入して表示しています。
*3 IFRS第7号「保険契約」を2023年度から適用しており、2022年度の実績は当該会計基準を適用した後の数値を記載しています。
*4 2025年4月1日付で株式分割(2分割)を行っており、過去の配当は分割後の1株当たり相当額を記載しています(小数点第2位を四捨五入)。

決算数値などの詳細は
ウェブサイトをご参照ください
<https://www.kddi.com/corporate/ir/>



おしえて! //
松田 浩路 社長



Q 子どもの頃の思い出は？

1985年のつくば万博のことをよく記憶しています。当時私は中学2年生で、最先端の科学技術を駆使した展示に夢中になり、「新しいテクノロジーこそが、未来をつくるんだ!」と確信しました。これからの日本と世界の将来を担っていく小・中学生の皆さんにも、現在開催中の大阪・関西万博にぜひお越しいただき、「夢中になる」体験をしていただきたいです。

Q 忘れられない仕事のエピソードは？

入社3年目の1998年に、初の海外出張で全仏オープンテニスの中継準備の際、ボールの動きが速く、映像の乱れ(ブロックノイズ)が生じました。原因を模索する中で、最後に私が「あること」を試してみたら、ピタッとノイズがなくなりました。帰国後に生放送を見て、自分の仕事が誰かのためになることの嬉しさを実感しました。

Q 好きな言葉は？

瀬島龍三氏の言葉から「準備万端、先手必勝」を好んでいます。「準備」というワードには、「転ばぬ先の杖」というような守りのイメージがあるかもしれませんが、私はチャンスをつかむために、常に「先手必勝」で動き、いつでも「準備万端」でいるという攻めの意味で捉えています。

Q ご自身で考える、自分自身の強みは？

エンジニア出身として、当社の基幹技術を理解しベースにしたうえで、商品・サービス、事業開発に携わってきたことだと思います。テクノロジーの実用化に対して見極める力と、常に次なる事業展開を結び付けて考える習慣が付き、経験の幅が大きく養われたと感じています。

特集

「つなぐチカラ」の進化

2030年に向けたKDDIグループの
社会的存在意義を表した
「KDDI VISION 2030」
（「つなぐチカラ」を進化させ、誰もが
思いを実現できる社会をつくる。）
このビジョンの実現に向けた、
先端技術を活用した取り組みを
ご紹介します。

au Starlink Direct

衛星とスマホの直接通信サービス 「au Starlink Direct」提供開始

当社は日本の衛星通信サービスの一角を担い、宇宙から日本と世界をつなぎ続けてきました。当社が日本とアメリカを結んで初のテレビ衛星中継実験を行ったのは、1963年のこと。それ以降、衛星通信技術は進化を続け、いよいよStarlink衛星とスマートフォンの直接通信サービス「au Starlink Direct」が本年からスタートしました。なお、衛星とスマートフォンの直接通信サービスの提供は、日本初*¹となります。



※ au 以外をご契約中のお客さまは、キャンペーン期間中（2025年5月7日～6月30日）に au Starlink Direct 専用プランにご加入いただくことで、6ヵ月間無料でご利用いただけます。無料期間終了後は、有料となります。条件など詳しくはHPをご確認ください。
<https://www.au.com/mobile/service/starlink-direct/>

本サービスでは、既存のau周波数を活用し、スマートフォンがStarlink衛星と直接つながることで、圏外エリアでも空が見える状況であれば、テキストメッセージの送受信や、緊急地震速報の受信、位置情報の共有が可能になります。また、Androidをご利用のお客さまは、テキストで質問を送ることでGoogleのAIアシスタント「Gemini」を活用できます。
各通信事業者の人口カバー率は99.9%を超えていますが、日本特有の地形により、面積カバー率は約60%*²です。本サービスにより、残りの約40%の地域でも通信が可能となり、通信環境の整備が困難な山間部や島しょ部、キャンプ場や海上などにおいても、家族や友人との連絡手段、緊急時などに活用いただけます。本サービスを通じて日本全土にauエリアを拡張することで、「日常がつながる」、「非日常がつながる」、「空が見えれば、どこでもつながる*³」体験を提供していきます。

- * 1 国内通信キャリアによる提供サービスとしては、auが初となります。（KDDI調べ）
- * 2 総務省「令和6年度 携帯電話及び全国BWAに係る電波の利用状況調査の調査結果について」より。国勢調査に用いられる約500m区画において、50%以上の場所で通信可能なエリアを基に算出（2020年12月末時点の情報）。対応機種は4G LTE（800MHz）対応機器。
- * 3 対象機種にて、iOSメッセージアプリ/Googleメッセージアプリ上でのテキストメッセージで先行して提供開始。音声通話とインターネット通信は未対応（2025年4月時点）。利用環境等により接続が制限される場合があります。衛星捕捉時には留守電機能と着信転送機能とナンバーシェア（スマートウォッチ）での着信機能をご利用いただけません。



AI

AIの利活用と 基盤構築に向けた取り組み

当社は「生成AI」の社会実装を進めており、国内トップクラスのLLM（大規模言語モデル）の研究開発力を有するスタートアップ企業との提携や、当社グループの計算基盤及びネットワーク資源を活用し、付加価値の創出に取り組んでいます。

従前より、当社はサービスへの生成AI機能の組み込みや、グループ会社における顧客対応業務支援等、ビジネスでの生成AIの利活用に取り組んできました。加えて本年3月には、お客さまセンターのお問い合わせ窓口に、生成AIとデジタルヒューマン*⁴を組み合わせた「auサポートAIアドバイザー」を導入しました。本サービスにより、お客さまはご自身のペースで知りたい情報をいつでも確認することができます。

* 4 人間のような特徴や外見を持つ3Dモデルを作成又は使用する技術の総称。



また、社会全体の生成AI需要の高まりに応えるべく、当社は生成AI開発を支える大規模計算基盤の整備に中長期で1,000億円規模を投じることを発表しました。昨年12月には、シャープ株式会社と同社の堺工場跡地におけるAIデータセンターの構築に基本合意し、さらに本年4月には2025年度中の稼働開始を見据え、同跡地の土地や建物の取得に関する契約を締結しました。

当社は今後も、個人・法人を問わず、お客さまに付加価値を提供するサービスの拡充を進めるとともに、AI基盤構築への取り組みを通じて、各産業・各業界のビジネスパートナーとともに持続可能な社会の構築を進め、日本全体の活性化に貢献していきます。



未来のコンビニ

新たな購買体験と 店舗オペレーションの省力化

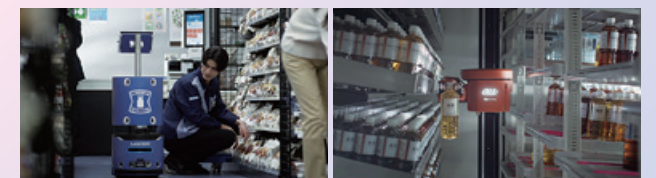
当社は三菱商事株式会社（以下 三菱商事）、株式会社ローソン（以下 ローソン）とともに、ローソンの「未来のコンビニ」への変革に向け、三菱商事と当社が有する事業基盤やAI・DX技術を活用した「Real×Tech Convenience」の拡大を推進しています。

まず、お客さまへ新たな購買体験を提供するために、デジタル技術を活用した複数のサービスの実証を進めています。例えば「AIサイネージ」は、AIがお客さまの嗜好データを解析し、好みに合わせた商品提案やお得な情報を適切なタイミングでお届けすることで、ご興味に応じた商品をスムーズに見つけられるようになります。また、「リモート接客」を通じて、端末のサポートや金融サービスの相談、服薬指導など、専門知識を要するサービスをリモートで受けられるようになります。さらに、「スマホレジ」の導入により、レジに並ぶことなくお買い物が可能になります。



一方、コンビニにおける省力化を実現するため、最先端のテクノロジーを活用した取り組みも進めています。特に、「AI Restocking System」では、作業負荷の大きい飲料品の品出し業務をAIの自動制御に置き換えることで、リアルタイムで在庫を管理し、需要や時間帯に応じた柔軟な品出しを24時間365日実施することを目指します。さらに、ロボットを活用して店内の清掃や商品配送業務を行うことで、スタッフの負担を軽減し、よりスムーズな店舗運営を実現します。これらの取り組みを通じて、今後深刻化する労働力不足という社会課題の解決にも寄与していきます。

これらの取り組みを、「TAKANAWA GATEWAY CITY」のローソンにおいて実証することで、Real×Tech Convenienceの仕組みを構築し、他店舗への拡大も目指していきます。



KDDI Sustainability サステナビリティ

当社は、中期経営戦略の策定に合わせ、サステナビリティに関する6つの重要課題(マテリアリティ)を設定しています。そのうち、今回は「通信を核としたイノベーションの推進」と「人財ファースト企業への変革」の2つに関する直近の取り組みをご紹介します。

通信を核としたイノベーションの推進

当社は、本年4月に開幕した大阪・関西万博の未来社会ショーケース事業「フューチャーライフ万博・未来の都市」において、株式会社日立製作所と「Society 5.0と未来の都市」をテーマに「Mirai Meeting (ミライミーティング)」を共同展示しています。本展示では、未来の都市像とともに考えていただく機会を提供するとともに、未来の都市につながるデジタルイノベーションや新たな価値を実証します。

詳細はこちら▼



Mirai Theater

来場者がシミュレーションを通じて未来の課題に対する解決策を自ら選択し、「未来の都市がどのように変わるか」を体験できます。

120人が一度に入場できるシアター形式の施設では、スマートデバイスを用いたインタラクティブな体験が可能です。来場者は2035年の未来に住む子どもからのSOSを受け取り、未来の課題や選択肢について理解を深めながら、全員で考え、解決策を選択します。さらに、会場外からメタバース上で同じ体験をすることが可能です。



Mirai Arcade

現代社会の課題を来場者のアクションで解決し、明るい未来社会に変えていく体験ができる展示です。

大型タッチパネルを用いたゲームコーナー仕立てで、最大3人で協力しながら、画面に現れる現代社会の様々な課題に向けて、未来を変える力がつまった「ミライボール」を投げることで、快適で活力に満ちた明るい未来社会に変える体験ができます。小さなお子さまも全身を動かして楽しむことができます。



大阪・関西万博

バーチャル未来の都市

未来の都市の展示は、大阪・夢洲の会場だけではなく、会期中にメタバース上に「バーチャル未来の都市」を提供します。「バーチャル未来の都市」は、203X年の仮定の街、未来のテクノロジーが広がる世界を舞台に、アバターを介して都市空間を散策しながら、未来の社会やテクノロジーがどのように私たちの生活に影響を与えるのかを学ぶコンテンツになっています。



詳細はこちら▶



VOICE 現地の声

来場者

- ▶メカとかテクノロジーとか好きな人は「未来の都市」に行くべし！おもしろい！
- ▶未来の都市は見どころが多く時間が足りなかったです！

スタッフ

- ▶毎日、小学生から高校生の学生のみなさんが多く訪れてくださっています！
- ▶120人が一度に入場できるMirai Theaterではお客さまが積極的に「Yes!」「No!」と声を出して参加してくれています！

PRESENT

万博チケットプレゼント

抽選で150組の株主さまに、大阪・関西万博のペアチケットをプレゼントいたします。

ご希望の方は、裏表紙に掲載の株主さまアンケートを通じて、ご応募ください。

人財ファースト企業への変革

当社は、本年4月から順次、「TAKANAWA GATEWAY CITY」のTHE LINKPILLAR 1 NORTHに本社を移転し、本年7月1日に新本社がグランドオープンを迎えます。

「つながりカラを進化させ、ワクワクする未来を発信し続ける Connectable City」をコンセプトとする新本社を起点として、会社・部門を超えた共創・シナジーの創出を進め、「未来をつくる仲間とつながる。」に挑戦するとともに、高輪での取り組みを日本全国に、将来的には世界に拡大することを目指していきます。

本社移転を契機とした働き方改革

新本社は、自由で生産性の高い働き方を実現するために、常に働き方をアップデートし続ける場を目指しています。例えば、さまざまな部門やグループ会社に加え、社外との共創を図るコラボレーションスペースやイベントエリアを設けています。また、環境や事業の変化に応じた働き方の変化に柔軟に対応できるように、可動式の家具や無線配線を活用することで、容易にレイアウト変更が可能な設計を採用しています。さらに、食堂・カフェテリアや運動可能なスペースの整備など、社員が心身のコンディショニングを整えられる環境を整備しています。既存のオフィスの枠を超えた環境で、社内外の活発な交流を促し、アイデアやイノベーションの創出を推進します。



本社移転

スマートシティの実現に向けた実証

本年3月から提供開始した、街データとauデータを活用してスマートシティを実現する「WAKONX SmartCity ソリューション」が、TAKANAWA GATEWAY CITYでも採用されています。

TAKANAWA GATEWAY CITYにおいては、まち全体をつなぐ統合ネットワークと、データ基盤である「TAKANAWA GATEWAY CITY OS」をベースに、街の状況や個人それぞれの興味関心に応じた情報を提供する「TAKANAWA GATEWAY CITY アプリ」や、混雑情報を基に移動する配送ロボットサービス、イベントの混雑予測等のシミュレーションが可能となる「TAKANAWA GATEWAY DASHBOARD」等を提供しています。

「100年先の心豊かな暮らしのための実験場」を掲げる TAKANAWA GATEWAY CITYで、当社の社員自身が働きながら、スマートシティの取り組みを実践することで、さまざまな課題を解決し、未来につながる豊かなまちづくりを推進していきます。



PRESENT

「大阪・関西万博」入場ペアチケット

「未来の都市」への優先入場枠をご用意いたしますので、
皆さまからのご応募をお待ちしております！

150組
300名さま

開催期間

2025年4月13日(日) ▶ 10月13日(月)

場 所

大阪 夢洲 ※会場までの交通費は自己負担となります。



PLATINUM PARTNER



注意事項

- 【1】当選者の発表は、2025年7月下旬にメールにて通知予定です。なお、メールアドレス、ご住所の不一致等によりお届けできなかった場合、再送はいたしかねます。
- 【2】優先入場枠は、当社が指定した日時となります。対象日時等の詳細は、アンケートフォームにてご確認ください。
- 【3】プレゼントの写真はイメージです。また、都合により内容が変更となる場合がございます。
- 【4】アンケートには株主番号の入力欄があります。同封の配当金計算書の右上に記載がございますのでご確認ください。
- 【5】ご回答いただいた内容は、統計情報およびプレゼントの発送のほか、株主さま向けの活動充実のためにも使用させていただく場合がございます。

©Expo 2025

株主さまアンケート [アンケート実施期間] 2025年6月18日(水)～2025年7月2日(水)

株主の皆さまの率直なご意見・ご感想をぜひお聞かせください。今後の株主通信制作などの参考にさせていただきます。
下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<https://www.e-kabunushi.com>

いいかぶ

検索

アクセスコード: **[9433]**



スマートフォン・携帯電話から



空メールによりURL自動返信

kabu@wj.m.jpへ空メールを送信してください。
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

アンケートのお問い合わせ



「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

株主優待制度を通じた寄付のご報告



2024年度株主優待において寄付をご選択いただいた株主さま、及び期限内に商品のお申し込みがなかった株主さまのカタログギフト商品代相当額を、「キボウのカケハシ」で支援する社会貢献活動団体へ寄付をさせていただきました。

多くの株主さまにご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

寄付金額 8,617,841 円

寄付実施日 2025年3月31日

キボウのカケハシは
コチラ▶



KDDI 株式会社

〒102-8460 東京都千代田区飯田橋3丁目10番10号 ガーデンエアタワー

※2025年7月1日以降の本社住所は以下のとおりです

〒108-8618 東京都港区高輪2丁目21番1号 THE LINKPILLAR 1 NORTH

(本店所在地: 東京都新宿区西新宿二丁目3番2号)

<https://www.kddi.com/>



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。